

“未知と出会う” 3日間の体験型アートイベント

「Kyoto Art Center OPEN DAY 2026 Winter」開催

～元小学校を舞台に、アーティストの制作室を一般公開～

日程：2026年2月20日（金）～22日（日） 会場：京都芸術センター

京都芸術センター（京都市中京区）は、アーティストの制作室を一般公開し、ダンスや演劇、美術など多彩な表現に気軽に触れられるイベント「Kyoto Art Center OPEN DAY 2026 Winter（以下、OPEN DAY）」を、2026年2月20日（金）から22日（日）まで開催します。子どもから大人まで楽しめる、“未知”と出会うワクワクを体験できる3日間のオープンイベントです。



つくる途中をのぞいて、やってみるー 11組のアーティストによる多様なワークショップ

AIやデジタル技術の進展により、“正解”や“わかりやすさ”があふれる現代。「OPEN DAY」は、答えを急がず、“まずはやってみる”ことを楽しむオープンイベントです。

アーティストが制作に使用しているスタジオ（制作室）を一般公開し、作品が完成するまでの試行錯誤を来場者と共有します。ダンスや演劇、美術など多様なジャンルの11組のアーティストたちが、身体や手を動かしながら、さまざまな表現に触れられるワークショップを展開。子どもから大人まで、初心者から経験者まで、それぞれの興味に合わせて参加できる内容です。

プログラムは、95年前に建てられた元小学校（登録有形文化財）の教室や講堂など、京都芸術センターの館内各所を舞台に行われます。伝統を大切にしながらも、新しいもの好きで多彩な表現に寛容な京都という土地で、用途を変えながら使い継がれてきた建物を会場に、新しい発想や思いがけない発見に出会える3日間。特設フード＆ドリンクエリアも含め、“未知”との出会いを気軽に楽しめます。

概要

イベント名： 「Kyoto Art Center OPEN DAY 2026 Winter」
会期： 2026年2月20日（金）～22日（日）
会場： 京都芸術センター
主催： 京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）
ワークショップ（※カッコ内はアーティスト名）：

■ ダンス：

「京都芸術センターの廊下を音を立てず歩くそれすなわちダンスなり（増川健太）」
「みんなで楽しむハッピーダンス！（セレノグラフィカ）」
「はじめてのコンテンポラリーダンス（吉本渚）」

■ 舞台・演劇：

「あなたが体験した怖い話・不思議な話 を教えて（劇団トム論）」
「創作ってむずかしい？～ことばを紡いで物語を作る～（劇団ヨアガキ）」
「new tool- 使われなくなった舞台美術を新たな道具に-（共通舞台）」
「『銀河鉄道の夜』を、感じるワークショップ（てんこもり堂）」
「舞台芸術の『推し』を探せ！～あなたが観たい公演の見つけ方～（THE GO AND MO'S）」
「群像会話をやってみよう（ヨーロッパ企画：上田誠）」

■ 美術：

「ペットボトルキャップからカラフルなチャームを作ろう！（福本浩子）」
「抽象画入門ワークショップ（斎藤真人）」

その他イベントやフード＆ドリンクは、公式ウェブサイトをご確認ください。

公式ウェブサイト：<https://www.kac.or.jp/events/0129/>

「OPEN DAY」とは

京都芸術センターでは、新進又は若手の芸術家等の活動を支援するため、制作支援事業として「制作室（全10室）」を一回最長3か月間無償で提供しています。

制作室を使用するアーティストたちの活動を体験できる「明倫ワークショップ」は毎月開催していますが、「OPEN DAY」は京都芸術センターの建物全体を使って芸術を楽しむ特別なイベント。日頃はクローズドな空間で進められている活動や、作品が生まれる前段階にある試行錯誤や思考をアーティストと来場者が共有することを目的として開催しています。子どもから大人まで、初心者から経験者まで楽しめるさまざまなジャンル（ダンス・舞台/演劇・美術など）のワークショップが開かれます。あまり接することのないアーティストたちと時間を共有し、新たな表現や視点と触れることで、“未知”と出会える機会です。

PRESS RELEASE

報道関係各位

2026年2月4日

京都市芸術文化協会／京都芸術センター



©高野友実



©OMOTE Nobutada

京都芸術センター

京都芸術センターは、芸術文化の振興を目的に2000年4月に開設されました。若い世代を含む多様な芸術家の制作支援を軸に、芸術文化に関する情報発信や、芸術家と市民の交流促進を取り組んでいます。芸術家が創作活動を行い、その成果を発表するための制作室の提供をはじめ、展覧会、伝統芸能、演劇、ダンス、音楽などの公演やワークショップを実施。芸術家の発掘・育成や伝統芸能の継承、国内外の芸術家を受け入れるアーティスト・イン・レジデンス事業にも力を注いでいます。これらの活動を通じ、京都における都市文化創造の拠点として、芸術の新たな価値を社会に開く場づくりを進めています。



京都芸術センター外観 ©高野友実

<本件に関するメディアからのお問い合わせ先>

京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会) TEL: 075-213-1000、E-mail: pr@kac.or.jp、担当: 福島